

フォローアップの進め方について

2021年12月17日

資源エネルギー庁

これまでの議論について

- 次世代スマメ検討会では、再エネ等の分散電源やEVの普及拡大、電力データの利活用等の環境変化の下、レジリエンスの強化、需給安定化、脱炭素化、需要家利益の拡大等の社会便益の増大を目的に、電力分野のデジタルトランスフォーメーションを推進する観点から、カーボンニュートラル時代に向けたプラットフォームとして相応しいスマートメーターシステムの検討を行ってきた。

2014

2025～

2030

現行スマートメーター

次世代スマートメーター

- 遠隔検針（有効電力量30分値）
- 遠隔開閉機能
- 需要家側データ取得



出所) 日本電気計器検定所ホームページ

「30分値計画値同時同量制度」や「インバランス料金の精算」など、**電力事業の基盤を支えるシステム**として活用されている

社会環境の変化

分散電源の普及

再エネの市場統合

電気事業法改正
データ活用・アグリゲーター

情報通信技術の
進展

「次世代スマートメーター」=「電力DX推進に向けたツール」

電力DX推進により、実現を目指す社会便益

電力レジリエ
ンスの強化

系統全体の
需給安定化

再エネ普及
脱炭素化

効率化・需要
家利益向上

フォローアップ全体像について

- フォローアップでは、各社毎に「電力DX推進に向けたビジョン（標準仕様が決定したスマートメーターシステムをどのように活用していくか）」という大きな方向性を示していただくほか、「仕様統一・調達効率化（コストダウンや公平性等の観点から適切に進められているか）」、「便益最大化（仕様の有効活用ができていないか）」、「導入促進（エネルギー基本計画等で記載の導入計画に沿って進められているか）」等の各論に関して、御報告いただくこととしたい。

<全体としての方向性>

- 電力DX推進に向けたスマメシステム利活用ビジョン（共同検針含む）
（電力DX推進の上でどのようなアクションをしていくか。また、その際に、どのようにスマメデータ等を活用していくか。）

<各論> ※次ページ中間とりまとめより項目整理

- 仕様統一
- 導入計画
- 便益最大化
- 調達計画
- 調達状況（共同調達含む）
- 調達仕様案・通信方式の選択（マイグレーション含む）

(参考) 次世代スマメ検討会中間取りまとめより抜粋

- 詳細仕様の検討に当たっては以下を実施することとする。
 - ・通信等については地域特性等を考慮する必要があるが、次世代スマートメーターについては可能な限り仕様統一化を進めることが、調達コスト低減や、サプライチェーンの相互代替性、データ活用を進めていく観点から望ましいため、他社と連携して計量器や通信・システムの仕様統一化や共同調達（サーバーの統一化・一元化も含む）に向けた検討を行い、取組を進めること。 ⇒仕様統一、共同調達
 - ・通信やシステム等の設計に当たっては、将来ニーズの変化に柔軟に対応するために、フレキシビリティの高い設計仕様（取得対象の拡大、変更、制御への活用等）とすること。 ⇒調達仕様案
 - ・通信やシステム等の方式の選択については、複数の方式を比較検討を行い最適な選択を行うこと（通信方式については、1：N方式、マルチホップ方式、P L C方式、その組合せ等の中から、次世代スマメ検での議論を踏まえて、比較検討を実施すること）。この際、第1世代から第2世代への合理的なマイグレーション方式、及び第3世代への円滑なマイグレーションも見据えた上で、最適な選択を行うこと。 ⇒通信方式の選択
 - ・いずれの仕様の検討についても、新たなニーズ等への対応が必要になる場合を想定し、後悔値を最小にする観点等から検討を行うこと。 ⇒調達仕様案
 - ・新仕様の具体的な活用方法を検討し、便益の最大化を図ること。 ⇒便益最大化
- 調達方法
 - ・RFI、RFP、競争入札等の実施計画を策定し、効率的な調達に努めること。 ⇒調達計画、調達状況
 - ・次世代スマートメーターの導入計画を策定し、それを確実に実施すること。 ⇒導入計画

※ 上記の検討結果、具体的な調達仕様案、調達方法等については、来年度の次世代スマメ検等でフォローアップを行うこととする。

本日御報告いただく内容について

- 本日は、前回機能が概ね固まった低圧スマートメーターにつき、送配電網協議会より、仕様統一及び導入計画の概要に関する検討結果を御報告いただく。
- また、今冬RFIを開始予定の6事業者より、電力DX推進に向けたスマメシステム利活用ビジョン及び各論としての調達計画について御報告いただく。

<全体としての方向性>

- 電力DX推進に向けたスマメシステム利活用ビジョン（共同検針含む）
（電力DX推進の上でどのようなアクションをしていくか。また、その際に、どのようにスマメデータ等を活用していくか。） ⇒ 6社より本日報告

<各論>

- 仕様統一（低圧・高圧） ⇒ 送配協より低圧に関して本日報告
- 導入計画（低圧・高圧） ⇒ 送配協より低圧概要に関して本日報告

- 便益最大化 ⇒ 6社より本日報告
- 調達計画 ⇒ 6社より本日報告

- 調達状況（共同調達含む）
- 調達仕様案・通信方式の選択（マイグレーション含む）

今後のフォローアップ内容について

- まず、残りの4事業者より、RFI前に、電力DX推進に向けたスマメシステム利活用ビジョン及び各論として調達計画について御報告いただく。
- また、来年度以降の調達の過程で、調達状況（共同調達含む）、調達仕様案、通信方式の選択（マイグレーション含む）や高圧の仕様統一・導入計画等について御報告いただく予定。

<全体としての方向性>

- 電力DX推進に向けたスマメシステム利活用ビジョン（共同検針含む）
（電力DX推進の上でどのようなアクションをしていくか。また、その際に、どのようにスマメデータ等を活用していくか。）⇒ 4社より次回以降報告

<各論>

- 仕様統一（低圧・高圧） ⇒ 高圧に関して次回以降報告
- 導入計画（低圧・高圧） ⇒ 低圧詳細・高圧に関して次回以降報告
- 便益最大化 ⇒ 4社より次回以降報告
- 調達計画 ⇒ 4社より次回以降報告
- 調達状況（共同調達含む）
- 調達仕様案・通信方式の選択（マイグレーション含む）